

昭和大学新聞

学校法人 昭和大学
 発行人 小口勝司
 電話 (3784) 8000 〒142-8555
 東京都品川区旗の台1の5の8
 1部 50円 毎月1回発行

11月号の内容

- 1面
 ・昭和大学病院放射線治療センターオープン
 ・令和元年度解剖慰霊祭
 ・昭和大学における共同研究
 ・マダガスカル口唇口蓋裂医療協力団 結団式
- 2面
 ・昭和大学大学院秋季修了式
 ・昭和大学大学院秋季入学式
 ・医学部白衣授与式
 ・シリラトシバウイング講師とマイヤース講師 受賞
 ・笹間雄志さんが最優秀賞 受賞
 ・落合翔さんが優秀若手研究者賞 受賞
 ・大塩葵さんがSCRJP日本代表選抜大会 入賞
- 3面
 ・学生海外研修報告
 ・昭和大学薬学部卒業式・学位記伝達式
- 4面
 ・第59回旗ヶ岡祭 開催
 ・ヒューマンライツ・トークショー 開催
 ・父兄会秋季部会 開催
 ・就任のお知らせ
 ・昭和大学サポート寄付金寄付者氏名・上條記念館座席プレート申込み状況

【問合せ先】

【本紙について：総務課出版版】
 03-3784-8059
 press@ofc.showa-u.ac.jp
 【各種募金・寄付・90周年事業について：企画課】
 03-3784-8387
 【学事について：学務課・大学院課・入学支援課】
 03-3784-8022 (旗の台)
 0555-22-4403 (富士吉田)
 045-985-6503 (横浜)
 03-3784-8026 (入学支援課)

放射線治療センターオープン

昭和大学病院放射線治療センターが10月1日、昭和大学病院に開設された。同センターの開設にあたり昭和大学病院地下1階にリニアック(※1)が3台稼働可能となり、高精度放射線治療装置であるトモセラピーを導入した。今後は段階的に3台のリニアックを導入する予定である。

トモセラピーは強度変調放射線治療(※2)専用機器であり、360度すべての方向からがん病巣へ放射線を照射することにより、従来の放射線治療より、複雑な形をした腫瘍に合わせたコンピュータ制御で正確な照射が可能である。周囲正常臓器に対しては低線量に抑えることができるため、急性および遅発性の副作用を軽減することが可能であり、機器の特性から従来よりも短時間での治療を行える。

リニアック棟内で開催された同竣工式では旗岡八幡

神社の神主による神事が行われたのち、関係者による内覧会や祝賀会が催された。

■語句説明

※1 リニアック…「直線加速器」と訳され、X線や電子線を発生させ、がんの治療に使用される放射線治療機器のこと。

※2 強度変調放射線治療…放射線の「強度」をコンピュータ制御で腫瘍の形に適したように「変調」することで、正常組織の照射線量を抑えつつ腫瘍部分への集中照射を行う治療法のこと。



昭和大学病院放射線治療センター
センター長 伊藤芳紀

高齢者の増加により、放射線治療の適応となるがん患者が増えたこと、薬物療法との併用や高精度放射線治療により治療成績が向上したことなどで、がん患者の放射線治療施行割合が増加しています。

このたび、リニアック棟の開設と高精度放射線治療装置であるトモセラピーの稼働により、高度の放射線治療を専門チームとして行う放射線治療センターを開設しました。当センターでは外部照射とともに小線源治療も含

めて放射線治療科医師、診療放射線技師、医学物理士、看護士の育成の場として、専門的なセンター化を計ることに、有機的な教育と先端的な研究を行うとともに、臓器の機能・形態を温存し発病前のQOL※を維持したいという患者さんの希望に応えられる治療を目指してまいります。

※ QOL: Quality of Lifeの略で、治療や療養生活を送る患者の肉体的、精神的、生活面などを含めた生活の質のこと。

令和元年度解剖慰霊祭

令和元年度解剖慰霊祭が10月15日、上條記念館でめやかに執り行われた。解剖慰霊祭は医療の進歩のため、ご献体された故人の遺徳を偲び感謝する式典である。平成30年9月1日から令和元年8月31日までにご献体いただいた147柱の霊位が祀られ、ご遺族や教職員、学生が多数参列し、ご尊霊に黙祷が捧げられた。その後、参列者全員が祭壇に献花を行い、ご冥福をお祈りした。

式典では松山高明教授

(医学部法医学講座)が「学生にとつてご遺体を使つての解剖学実習およびその見学は欠くことができません。今日の医学・歯学・薬学・保健医療学の教育はご遺体を供して崇高なるご遺志を示された諸霊の善意によって支えられていることを忘れてはならないことを忘れない感謝の気持ちを捧げるとともに、ご献体いただきまして方々のご冥福を心よりお祈り申し上げます」と弔辞を述べた。



挨拶を述べる小口勝司理事長



導入されたトモセラピー

昭和大学における共同研究 産学官連携により社会に貢献

「知」の創造と活用を図ることに大きな価値が置かれる「知識社会」において、産学官連携は大学等の活性化と社会の発展に大いに寄与するものとして、その一層の充実・強化が求められている。

本学でも、他大学、地域社会、企業等との連携を推し進めており、その成果を社会に還元し社会貢献につなげている。

胎児の血液型を判定する新しい出生前検査法を開発

9月9日、関沢明彦教授(医学部産婦人科学講座)らは国立成育医療研究センター等との共同研究により、少量の妊婦の血液から、胎児RhD血液型を判定する新たな出生前胎児遺伝学的検査以下、「出生前検査」法を開発したと発表した。

これまで、妊婦の血液を用いた胎児のRhD血液型検査は日本人の一部で特殊な遺伝子型の影響で難しくかつ

マダガスカル口唇口蓋裂医療協力団 結団式

昭和大学マダガスカル口唇口蓋裂医療協力団の結団式が10月11日、上條記念館で行われた。

本事業は、アフリカ大陸東部の島国、マダガスカル

共和国で口唇口蓋裂に苦しむ子どもたちを助けるため、2011年5月から毎年行われ、今回が9回目となる。マダガスカルには口唇口蓋裂の治療を行える医師がこれまでにいなかったため、現地医師の育成も事業の重要な任務の一つである。

結団式には昭和大学関係者をはじめ、本プロジェクト発起人の曾野綾子氏、笹川記念保健協力財団の喜多悦子会長、駐日マダガスカル大使館の臨時大使が出席した。

本学職員からは土佐泰祥准教授(医学部形成外科学)



献花する学生

講座形成外科学部門を団長とする医師、歯科医師、看護士をはじめ、大学院生、学部生ら15名を派遣し、11月25日から12月10日までマダガスカル首都アンタナナリボから約170キロ南下したアンチラベのクリニック、アヴェマリア病院で、現地スタッフとともに手術や治療を行う。

口唇口蓋裂とは唇や上あご(口蓋)に生まれつき裂け目がある状態で、哺乳力の低下や言語障害などの問題が発生する。日本国内では年間約1,000人の乳児が治療を受けており、アジ



アやアフリカの国々では、貧困などにより、十分な保健医療サービスや治療を受けられない子どもたちがたくさんいる。

歯髄幹細胞を活用した骨関連疾患の治療法創出
 9月10日、石川紘司助教(医学部整形外科講座)らが株式会社ジーンテクノサイエンスと「歯髄幹細胞を活用した骨関連疾患の治療法創出」について共同研究契約を締結した。

本研究は再生医療事業の基盤となる歯髄幹細胞を活用して、骨関連疾患等に対して新たな治療法の創出を可能にする研究を実施した。

歯髄幹細胞を増殖を抑制する化合物を発見
 9月19日、田中忠准教授(薬学部基礎薬学講座)生体分析化学部門、合田浩明教授(同講座 生物物理化学部門)、岩手医科大学薬学部の阪本泰光准教授、關谷瑞樹助教(同)、長岡技術科学大学の小笠原涉教授、長岡工業高等専門学校鈴木義之特命助教、JAXAの山田貢主任研究開発員らの研究グループは、2015年に発表した歯周病菌DPP11の立体構造の解明に

本研究は、歯周病菌や多剤耐性菌などの糖非発酵性病原菌に対して、これまでにない仕組みで作用するNFGNR(糖非発酵グラム陰性細菌)に特異的な抗菌薬の開発に結びつくと考えられる。

昭和大学大学院秋季修了式



令和元年度昭和大学大学院秋季修了式が9月26日、上條記念館で挙行了。医学研究科17名、歯学研究科1名、薬学研究科3名、保健医療学研究科博士前期課程9名に久光正学長から学位記が授与された。久光学長は告辞で「大学院の課程を修了しても研究を継続して新知見を重ねることが大切であり、今後一層の活躍を期待しています」と述べた。

昭和大学大学院秋季入学式

令和元年度昭和大学大学院秋季入学式が10月3日、上條記念館で挙行了。薬学研究科3名、保健医療学研究科博士前期課程7名が入学した。今年度は春季に医学研究科52名、歯学研究科27名、薬学研究科11名、保健医療学研究科博士前期課程8名と博士後期課程1名が入学しており、春季・秋季あわせて113名が大学院で新たなスタートを切った。久光正学長は告辞で「大学院は既知なるものの学修を積み上げるだけでなく、未知なるものを研究し解き明かしていくことが求められます。大いに研究し価値ある成果が生まれることを期待します」と述べた。



久光正学長

笹間雄志さん最優秀賞受賞

先端歯学スクール2019

先端歯学スクール2019が8月27日、28日、大阪大学で開催され、笹間雄志さん(大学院歯学研究科4年)が、最優秀賞を受賞した。同スクールは、国公立大学歯学部・病院長会議と密接な連携をもつ「先端歯学国際教育ネットワーク」が毎年開催するもので、歯系大学の卓越した能力をもち大学院生を対象に、歯学分野の未来を担う若手研究者を育成することを目的としている。ただ一人私立大学からの参加となった笹間さんは、並み居る全国国公立大学の大学院生を抑えて最優秀賞受賞者に選ばれた。笹間さんが発表した研究は、軟骨細胞の増殖制御に

落合翔さん優秀若手研究者賞受賞

フォーラム2019・衛生薬学・環境トキシコロジー

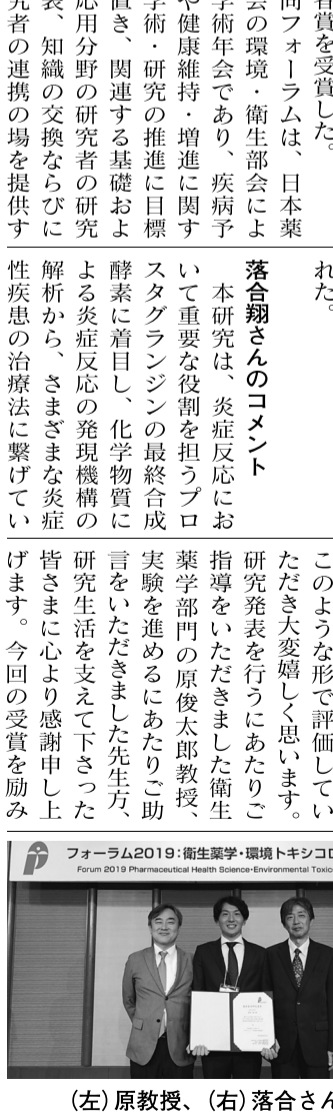
フォーラム2019・衛生薬学・環境トキシコロジーが8月31日、9月1日、京都薬科大学で開催され、落合翔さん(大学院薬学研究科2年)が、優秀若手研究者賞を受賞した。同フォーラムは、日本薬学会の環境・衛生部会による学術年会であり、疾病予防や健康維持・増進に関する学術・研究の推進に目標を置き、関連する基礎および応用分野の研究者の研究発表、知識の交換ならびに研究者の連携の場を提供する。落合翔さんのコメント
本研究は、炎症反応において重要な役割を担うプロスタグランジンの最終合成酵素に着目し、化学物質による炎症反応の発現機構の解析から、さまざまな炎症性疾患の治療法に繋がっていくことを目的としています。落合さんは題名「化学物質による炎症へのプロスタグランジン合成酵素の機能解析」の発表が評価され表彰された。

第25回スチューデント・クリニシャン・リサーチ・プログラム(SSCRP)日本代表選抜大会が8月23日、日本歯科医師会館で開催され、大塩葵さん(歯学部5年)が基礎部門の2位に入賞した。SSCRPは、日本歯科医師会が歯学生の研究意欲の向上と歯科医療の発展を担う国際感覚に優れた歯学生の育成を目的とし、日本代表選抜大会を開催している。世界39カ国で選抜大会が開催されており、最優秀成績者はワシントンD.C.で開催される国際歯科研究学会米国会(AADR)学術大会に派遣され、世界各国の代表とともに発表を行う。大塩さんは、題名「歯周病性骨吸収および破骨細胞分化に対するオゾンジェラ(※)の効果」の発表が評価され、表彰された。

同研究は歯周病によってもたらされる歯槽骨破壊に對して、オゾンジェラ(※)が有意な抑制効果を発揮したことを明らかにしている。※オゾンジェラ・グリセリン中にオゾンを溶解させ、オゾンの持つ殺菌作用や骨形成促進作用を長期間保存し、かつ適用範囲を拡大したもの。大塩葵さんのコメント
このたび、私はSSCRP日本代表選抜大会にて、ポスター発表し、基礎部門の2位に入賞いたしました。慣れない実験やデータの整理などで研究室の先生方には大変ご迷惑をおかけし、自分の勉強不足を恥じる日々でしたが、今回このような賞をいただくことができ、驚きとともに感謝の気持ちを通じた。また、臨床研修医代表から、患者さんとの関わり方などの講話を受けた。



フォーラム



(左)原教授、(右)落合さん

医学部白衣授与式

令和元年度医学部白衣授与式が9月27日、上條記念館で執り行われた。同式は、臨床実習を目前に控えた医学部4年生が倫理観や患者さんに対する思いやりの心を再認識して、医師を目指す者としての心構えを新たにすることを目的で実施している。小川良雄医学部長は告辞

で「本学医学部の7つの附属病院における少人数制の臨床実習教育は日本医学教育評価機構から高い評価を得ており、この恵まれた環境の中で、これまで学んできた知識や技術を駆使して臨床実習に全力で取り組んでほしい」と述べた。4年生107名は教員から授与された真新しい白衣に袖



令和元年度 白衣授与式

シリーズトシバウオンク講師・マイヤース講師 受賞

第22回日本医学英語教育学会学術集会

第22回日本医学英語教育学会学術集会が8月3日、4日、中野サンプラザで開催され、クリス シリーラトシバウオンク講師(医学部トシバウオンク講座)が第15回植村一賞、マイケル マイヤース講師(国際交流センター)が同奨励賞を受賞した。同学会は医学英語に関する研究を推進し、医学英語教育の向上を図ることを目的としており、日本医学英語検定試験を実施するなど日本の医学英語教育の普及の一翼を担っている。創設者である植村研一氏の名を冠した同賞は、毎年



(左)マイヤース講師 (右)シリーズトシバウオンク講師



竜太郎教授(同)も今回の受賞に喜びの表情を見せた。

学生海外研修報告

「海外研修を終えて」

ポートランド州立大学(米国)

昭和大学は国際的な視野を持った医療人を育てるため、国際交流プログラム・短期海外研修の企画・実施に力を入れており、毎年世界各国の大学や病院に学生を送り出している。

ポートランド州立大学とのサマープログラムは2006年に立ち上げ、昭和大学のためにデザインされたプログラム「(英語でのインターカナル・コミュニケーション、医療施設見学、医療講義などを含む)を導入している。

今年度は各学部の一学生27名が同プログラムに参加して渡米した。

鎌田 凌(医学部1年)

私は、このプログラムを通して自分を大きく変えられたらという思いで、参加を申し込みました。何事も保守的で新しいことに挑戦するのが苦手だった自分にとって、とても良い経験になりました。

今回のプログラム内容は、すべてが刺激的なものでした。視界が広がりました。

まずはホームステイですが、他の人の家に住むという経験だけではなく、英語で会話をしなければならぬという環境はとても新鮮でした。さまざまな経験を通じて、アメリカの家のルールや食事の文化などを学



鎌田凌さんとホストファミリーの子ども

後藤 梨杏(歯学部1年)

私がこのプログラムに参加したのは英語力の向上と異文化に触れるという2つの理由があります。初めての留学だったため不安を抱えていましたが、先生方やスタッフの方が支えてくださったので安心して日々過ごせました。

アメリカというダイバシティに富んだ国へ留学したこと、さまざまな文化や人種を知ることができた。単なる留学ではなく、ホームステイがあり、かつ医療人からの視点でアメリカを見て知るプログラムがあったので非常に有意義な時間を過ごせました。



(右から2人目) 後藤梨杏さん

高崎 万里子(薬学部1年)

私は、今回のサマープログラムが初めての海外とホームステイでした。私は英語に苦手意識があり海外に行くことにも抵抗がありま

した。しかし、日々の英語の授業を通して、デイヴィッド先生が間違いを恐れずラックスして英語に向き合うことを教えてくれ、ホストファミリーやPUSUスタッフ、お店で店員さんと話す中で英語に対する抵抗感が非常に少なくなりました。



(左から2人目) 高崎万里子さん

現地で購入した際、店員さんが「英語上手ですね」と言っていることを理解しているだけでもすごい良かったです。

深津 風太(保健医療学部1年)

皆さんは1週間の長さをどのように感じますか。私は毎日同じことの繰り返しでとても早く感じます。しかし、この17日は久しぶりにとても長く感じ、充実感に満ち、多くの刺激を受け、新たな世界を手に入れました。見たことのない街並みや強烈な色と甘さのお菓子は今でも鮮明に覚えています。

私は今回の研修で「あなたは将来、自分の専門領域においてのリーダーであり、責任を持ちそれを自覚しなければならぬ」と言われ、プロフェッショナルについて深く考えさせられました。昔の医療現場は医師を頂点としたピラミッド型という構図をイメージしがちでしたが、現在は全ての医療職が対等な立場であります。そのため、全ての医療人が専門領域のリーダーであり、プロフェッショナルなのであります。このことが

すよ」と私の下手な英語を褒めてくれました。その時大変嬉しく感じ、英語をもっと勉強しようと思えました。人を褒めるということはその人の自信につながり、背中を押してあげられるのだと気づきました。

休日はプログラム参加メンバーとサッカー観戦やパーティング、ホストファミリーとは教会やパーティーへの参加や映画鑑賞をしました。初めて経験することばかりでとても濃いあつという間の2週間であり、この経験は一生の思い出になります。PSUSサマープログラムに参加できて本当に

昭和大学薬学部卒業式・学位記伝達式

令和元年度昭和大学薬学部卒業式・学位記伝達式が9月26日、上條記念館で挙行された。

卒業生21名に久光正学長から学位記が授与された。久光学長は告示で「卒業後も生涯学習を忘れることなく研鑽を続け、チーム医療の大切さを常に意識し、スタッフから信頼され敬愛される社会人となり社会に貢献してください」と述べた。



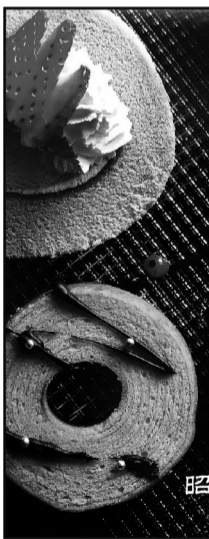
挨拶を述べる中村明弘薬学部長



プログラム参加者一同

医学堂書店

品川区 旗の台
電話(03) 3783-9774



カタログギフト
手配いたします

旅行
食事券
体験型
スイーツ
和牛専門
など

のし・包装も
お任せ

昭友商事株式会社
3784-8280

地球の健康とすべての人々の健康で豊かな生活に貢献したい。それが私たちスズケンの壮大なテーマです。



Design Your Smile
健康創造の
スズケングループ

SUZUKEN
http://www.suzuken.co.jp

MIZUHO

みずほ銀行
One MIZUHO

住宅ローンを見直してみませんか？
◆住宅ローンのお借り換えには、3つの目安があります。 毎月第2土曜日 休日相談会開催中

1. 現在お借入中の住宅ローンの残高が1,000万円以上ある方
2. 現在お借入中の住宅ローンと、お借換後の金利差が年率1.0%以上ある方
3. 現在お借入中の住宅ローンの返済期間が10年以上ある方

お借り換えにより、毎月のご返済額を軽減できる場合があります。

*上記は一般的な目安ですので、現在お借入中の金利条件(引き下げ条件)によっては借り換えのメリットがない場合がございます。また、住宅ローンのお借り換えにより、住宅ローン控除の適用を受けられなくなることがございます。
*みずほ銀行でお借入中の住宅ローンをお借り換えすることはできません。詳しくは、店頭またはみずほ銀行ホームページ【https://www.mizuho.co.jp/】まで。

【お問い合わせ先】みずほ銀行 荏原支店 TEL: 03-3783-6111

One MIZUHO

第59回旗ヶ岡祭開催

第59回旗ヶ岡祭(大学祭)が10月11日、旗の台キャンパスで開催された。今年、台風19号の接近に伴い1日のみの開催となったが、キャンパス内はステージ企画や模擬店などさまざまなプログラムで盛り上がりを見せた。同祭は学生による実行委員会によって開催され、元



模擬店



応援指導部によるパフォーマンス

旗ヶ岡祭を終えて

第59回旗ヶ岡祭実行委員会 委員長
神社 彩花さん(薬学部4年)

今年度、第59回目となる旗ヶ岡祭が10月11日に開催されました。「Next Innovation」昭和から平成、そして令和へ〜をテーマに掲げ、約半年間準備を進めてまいりました。台風19号に伴って縮小開催となりましたが、大盛況のなか終えることができました。旗ヶ岡祭に向け委員長として仕事をしていくなかで、多くの人数をまとめること、また組織全体に目を配ることの難しさを感じました。自分自身の至らない点も多くあり、何度も壁にぶつかるとともに、先輩など多くの方から支えられ当日を迎えることができました。この活動を通して、私自身、皆さまのおかげで成長できたように思います。

今年度は、第59回目となる旗ヶ岡祭が10月11日に開催されました。「Next Innovation」昭和から平成、そして令和へ〜をテーマに掲げ、約半年間準備を進めてまいりました。台風19号に伴って縮小開催となりましたが、大盛況のなか終えることができました。旗ヶ岡祭に向け委員長として仕事をしていくなかで、多くの人数をまとめること、また組織全体に目を配ることの難しさを感じました。自分自身の至らない点も多くあり、何度も壁にぶつかるとともに、先輩など多くの方から支えられ当日を迎えることができました。この活動を通して、私自身、皆さまのおかげで成長できたように思います。



講演の中で上原氏は経験したさまざまな事例を挙げ、固定概念を取り除き、課題をチャンスと捉えて周囲の人を巻き込みコラボレーションして解決していくことの大切さを説明した。



講演をする上原大祐氏

ヒューマンライツ・トークショー開催

昭和大学人権啓発推進イベント「ヒューマンライツ・トークショー2019」が10月21日に開催された。講師に元パラアイスホッケー日本代表で2010バン

上原氏の明るく軽快な講演により会場は朗らかな雰囲気となり、パラリンピックで獲得した銀メダルを参加者一人ひとりが手にとる一幕もあり、点字が刻まれた銀メダルを興味深く持つ様子が見られた。

最後に同委員会の中村明弘運営委員長は挨拶で、上原氏の講演の内容に触れながら「周囲の環境を嘆くのではなく、アイデアを出し、



全体会の様子



個別面談の様子

父兄会秋季部会開催

令和元年度父兄会秋季部会が旗の台キャンパス・横浜キャンパス(10月19日)・富士吉田キャンパス(10月5日)でそれぞれ開催された。同部会では学部別の全体会や指導担任との個別面談が行われ、保護者に学生生活に関することや教育の現状などが報告された。富士吉田キャンパスでは、学生寮や各施設見学のほか、学生による初年次体験実習報告会やPBLチュートリアル報告会も行われた。

職場の仲間たちと連携を取りながら改善していくことが大事であり、それに取り組むエネルギーを上原さんからいただきましたと締めくくった。

就任のお知らせ (10月8日 理事会承認)



IR室 室長(再任)

高木 康

現: 副学長(教育改革及びIR推進担当) 統括教育推進室長

任期: 令和元年9月1日~令和2年3月31日



医学部集中治療医学講座担当 教授 (勤務地: 昭和大学病院集中治療科)

小谷 透

前: 医学部集中治療医学講座担当 准教授 (勤務地: 昭和大学病院集中治療科)

任命日: 令和元年10月8日



上條記念ミュージアム 館長

小口 江美子

現: 特任教授

任期: 令和元年10月8日~令和4年3月31日

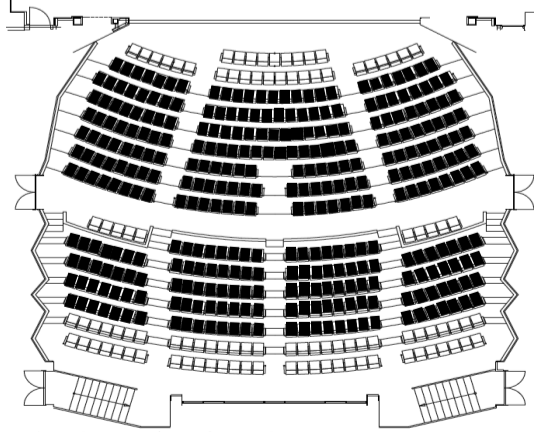
昭和大学サポート寄付制度にご協力いただいた方々 (令和元年9月1日~9月30日ご入金分)

- 医学部への寄付
[同 窓] 塩原 保彦 様(医学部・40回生) / 田崎 博之 様(医学部・33回生)
- 薬学部への寄付
[父 母] 岡田 佐智子 様
- 各クラブ・学生会への寄付
[父 母] 橋本 幹生 様(医学部・55回生) [同 窓] 里村 立志 様(医学部・41回生)
- 創立90周年記念事業への寄付(上條記念館建設)
目標寄付金額: 10億円
累計寄付金額: 842,225,809円(令和元年9月30日現在)
※上條記念館建設事業へ累計100万円以上のご寄付をされた方は上條ホール座席へ芳名プレートを設置し、顕彰させていただきます。(申込状況は下図参照)
- [父 母]
種市 浩志 様(歯学部・6回生) / 浦上 尚之 様(医学部・61回生) / 浦上 裕 様
丸山 千賀子 様 / 西谷 秋星 様 / 泉崎 雅彦 様
- [同 窓]
社会医療法人社団医善会 理事長 小泉 和雄 様(医学部・36回生)
宮崎 舜賢 様(医学部・37回生)
医療法人社団双愛会 理事長 伊谷野 克佳 様(医学部・66回生)
医療法人社団双愛会 常務理事 伊谷野 淳子 様(歯学部・17回生)
八塚 正四 様(医学部・40回生) / 井上 雅子 様(薬学部・13回生)
清水 潔 様(医学部・55回生) / 小出 馨子 様(医学部・67回生)
田崎 博之 様(医学部・33回生) / 戸塚 保 様(医学部・22回生)
小出 容子 様(歯学部・19回生) / 日時 隆 様(医学部・40回生)
吉津 徹 様(医学部・50回生) / 宮崎 拓郎 様(薬学部・32回生)
菅沼 岳史 様(歯学部・3回生) / 長井 孝太郎 様(医学部・43回生)
鈴木 満 様(歯学部・1回生) / 昭和大学同窓会 様 / 田中 大介 様(医学部・58回生)
横川 敏男 様(医学部・46回生)
- [職 員]
中村 明弘 様 / 黒岩 幸雄 様 / 至誠塾4回生一同 様 / 相良 博典 様 / 福山 麻衣子 様
松木 恵里 様 / 芹澤 一矢 様
- [一 般]
佐藤 英太郎 様 / 木内 直子 様 / 田中 亀雄 様 / 田中 きみ 様 / 橋本 洋喜・順子 様
その他
[同 窓] 佐藤 淳一 様(薬学部・14回生)
- 【備 考】
※申込順となっております。
※名前の公表を希望されない方については、掲載していません。
※申込時に同窓欄へ記載があった方につきましては、名前の後に学部と卒業回生を掲載しております(職員は除く)。

上條記念館建設事業 上條ホール イス芳名プレート席数

既申込数 336席 (分割支払い中を含む)
対象席数 396席

令和元年9月30日時点



※黒塗り部分が既申込席となります。
※本事業への寄付が100万円以上の方が対象
※前方2列(31席)および車いす席(10席)はプレート設置対象外です。(図)上條記念館内上條ホール1階